

納入事例

株式会社アクト・ディヴァイス 様

アクト・ディヴァイス様は、音響や照明、公共ホールの管理業務を行っています。この度、デジタル・ミキシングコンソールに DiGiCo の SD10、スピーカーに JBL PROFESSIONAL の VTX-V Series を中心としたシステムを導入いただきました。

「新しい機材の導入は社員のクオリティと営業力の向上になる」と、ご担当の乙部晴秋さん。機材導入の決め手となったポイントをうかがいました。

DiGiCo SD10 : 2017年6月 運用開始

JBL PROFESSIONAL VTX-V Series : 2018年5月 運用開始



▲ 本番前の DiGiCo [SD10] と JBL PROFESSIONAL [VTX - V20]

●新しい機材の導入について

「新しい機材を購入することでもたらされる変化のひとつが、音と機材に対する社員のクオリティの向上です。」と語っていただいたのは、ご担当者の乙部晴秋さん。機材購入が「社員のクオリティの向上」になるという視点を掘り下げてうかがってみました。

「新しい機材に向き合うことで社員は音と機材に対する新しい知識を得、現場における技術を学ぶことにつながります。興行主さんに提案の幅が広がるということも可能なおうえ、知識と技術の習得は機材設置や設定のスピードアップにもつながり、現場でクライアントやアーティストと対話する時間を今まで以上に作れるようになります。時間が増えればアーティストとの連携も密になり、現場のクオリティを上げることとなります。つまり、社員のクオリティ向上が現場のクオリティをも引き上げるという正の連鎖となり、その大きな部分を新しい機材が担っているとも言えます。」

アクト・ディヴァイス様は地域に密着した仕事を長年請け負ってこられました。専門的な知識を持ち合わせていない多くのお客様と、打ち合わせから本番終了後の片付けまで、さまざまな場面で意見のすり合わせが必要となってきました。そのなかで「人とのコミュニケーションが大切だ」という意識が自然に生まれて、今では社是の一つとなっています。コミュニケーションを大事にする社風が、今回の新規機材の購入の土台にもなっていると感じました。

●「機材が持つ営業力」と「業界標準機であること」

業務用の機器である以上、要求を満たすスペックが備わっていることはもちろん、機材が持つ営業力が重視されました。

今までの顧客をさらに満足させられるもの、新規顧客を取り込めるもの、自社運用だけではなく他社の現場でも使ってもらえるもの、他社との差別化を図れるもの、そしてなにより「アクト・ディヴァイスが持っている」と認知してもらえるもの

さらに重要視したポイントとして「業界標準機であること」が挙げられます。

今後の評価が高まっていくツールであること、音質が良いこと、将来を見据えての伝送方法を選択できること、動作が安定していること、どのようなジャンルにも対応できるもの

以上のような要件を備えていると判断されたのが、DiGiCoのSD10とJBL PROFESSIONALのVTX-V Seriesでした。

●SD10、VTX-V Series について

- DiGiCo SD10

DiGiCoのSD Seriesを知るきっかけは、「SD8」をヒビノの営業さんが持ってきてくれたことでした。「SD8」は、その時すでにワールドスタンダードとして知られていたコンソールでしたし、聞いた感じを素直に述べると、音の密度が濃くて音楽的な音が出るなという印象でした。

SD SeriesのラインからSD10に決めたのは、37フェーダーという大きさの割に軽量で可搬性に優れていることでした。運用を考えると、少人数で仕込みをしなければいけないことが多いため、重量があるものは考えられなかったからです。

もちろん、世界的な評価を持つDiGiCoのコンソールであることがベースとしてありまして、高音質で直観的な操作ができることも大きなポイントです。将来、ネットワークでつなぐことも考えて、伝送方法がMADIでもオプチカルでも可能なところも決め手になりました。

- JBL PROFESSIONAL VTX-V Series

JBL PROFESSIONALのVTX-V Seriesを初めて聞いたのは、InterBEE会場での試聴会でした。以前、同じラインアレイシステムでひとつ前のモデルのVerTecを聞いたことがあったのですが、VTX-V Seriesを聞いた時には印象が大きく変わりました。出力音圧が高いというのはもちろん、情報量の多さにびっくりしました。ディテールや微妙なニュアンスがよくわかりましたし、なによりのびやかな高域に魅了されました。

その頃、所有していた8インチのラインアレイのスピーカーシステムでは、ジャンルによっては物足りなさを感じる場面が増えてきたために、ブラッシュアップを考えていました。そういうタイミングに、10インチ低域ドライバー2個を搭載しながらコンパクトに収まったサイズ感で音が良いVTX-V Seriesに巡り合えたことが幸いでした。サブウーファーも舞台音響をやるうえには必須アイテムですので、同じVTX Seriesのものをそろえて音色を揃えました。

アクト・ディヴァイス様の活動は、岩手県内はもとより東北一円、関東から全国へと範囲を広げています。新規機材を導入したことで、どんなジャンルにも、どんな規模のイベントにも対応できるシステムを獲得されました。あらたな機材とともに次なるステップを踏むアクト・ディヴァイス様のご活躍を期待します。



▲チェック中のDiGiCo「SD10」



▲JBL PROFESSIONAL「VTX-V20」×8本

▶株式会社アクト・ディヴァイス

〒020-0862

岩手県盛岡市東仙北 1-12-25

TEL : 019-635-8899

URL : <https://actdevice.jp/>

**ACT
DEVICE**

主要な納入機材

機材	ブランド名	製品名
デジタル・ミキシングコンソール	DiGiCo	SD10
I/O ラック	DiGiCo	SD-Rack, SD-MiNi Rack
3-Way ラインアレイ・スピーカー	JBL PROFESSIONAL	VTX-V20
サブウーファー	JBL PROFESSIONAL	VTX-S25
2-Way ステージモニター	JBL PROFESSIONAL	VTX-M20
アンブラック	CROWN	IT4x3500HD, IT12000HD

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

ヒビノインターサウンド株式会社

スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト株式会社

TEL : 03-5783-3110

TEL : 03-5783-3882

TEL : 03-3450-4851

HIBINO

hibino Group